

2025年度 数理・データサイエンス・AI教育 プログラム自己点検・評価

国際高等専門学校

自己点検・評価の実施

- 自己点検・評価の対象

2025年度における自己点検・評価の対象は、本プログラムの開講科目で、学生の学修成果及び理解度・満足度について自己点検・評価を行う。

- 評価結果の判定

- 本プログラムの評価は以下に示す3段階で判定する。

[評価結果]

A: 取り組みの内容に特筆すべき点があり、十分に実施できている

B: 問題なく運営されている

C: 取り組みの内容について改善の必要が認められる

自己点検結果

(1)プログラムの履修・修得状況

- 本プログラムの構成科目は本校の必修科目であり、履修者は100%となる。科目単位の修得状況は教務委員会において確認し、数理データサイエンス教育推進委員会に共有できる。

科目名	履修率	合格率
基礎数学B	100%	100%
コンピュータスキルズIA	100%	100%
コンピュータスキルズIIA	100%	100%
コンピュータスキルズIIB	100%	100%
コンピュータサイエンス基礎	100%	100%
データサイエンス基礎	100%	100%
AI基礎	100%	100%
AI基礎(S4)	100%	94%

- 各科目で不合格となった学生に対しては、補習を受けることで単位修得するよう指導している。

自己点検結果

(2)学修成果

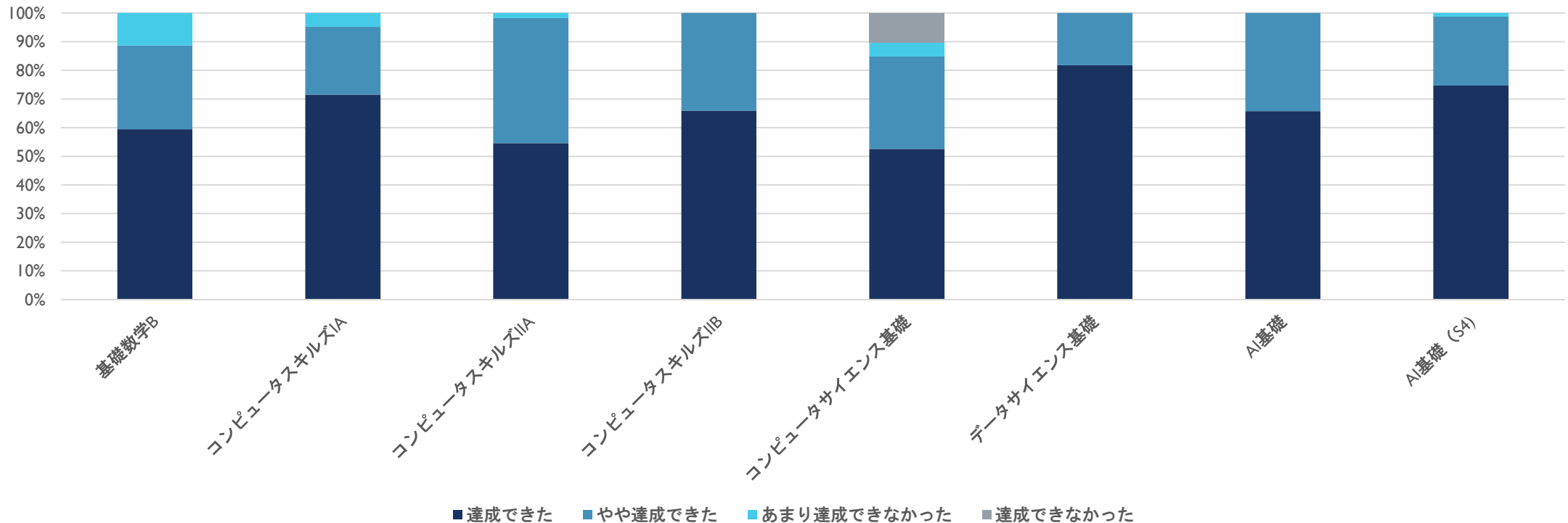
- 履修した学生に授業アンケートを行い学修成果の分析を行なっている。その結果をもとに学生の達成度や満足度等を分析し、次年度の授業に活かしている。
- 教員はアンケート結果を踏まえて「教育改善への取り組み」を校長に提出している
- 本プログラムの構成科目は必修科目であり、履修率は100%である。それらの科目の合格率（単位取得率）はAI基礎(S4)を除き100%であった。不合格であった学生に対しては補習を行い、科目を修得できるようにサポートしている。
- 学修成果は、年度末に開催される卒業・進級判定会議にて成績による評価を行っており、一定基準での学生の科目修得を決定している。

自己点検結果

(3) 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度

- 授業アンケートにおける「科目の達成目標」の結果は以下のとおりである。全ての科目で5～6個の個別の達成目標を設定しており、それらの合計を求めた。その結果全ての科目で「達成できた」「やや達成できた」の合計が80%以上となった。

科目の達成目標の平均



自己点検結果

(4)学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度

(5)全学的な履修者数・履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

- 本プログラムでは、構成する全ての科目を必修科目（卒業要件）としているため、在校生の履修者は100%となる。
- 現在、国際理工学科開設以来、定員充足を満たせていないため、令和8年度以降は毎年35名の入学定員の充足をめざすことにより、履修者数の向上を図っている。

年度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
入学者数	9	17	22	13	24

自己点検結果

(6)教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価

(7)産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見

- 令和6年度卒業生の進路状況は以下の通り。

進路先	進学	就職	その他
人数（合計6名）	9名	0名	0名

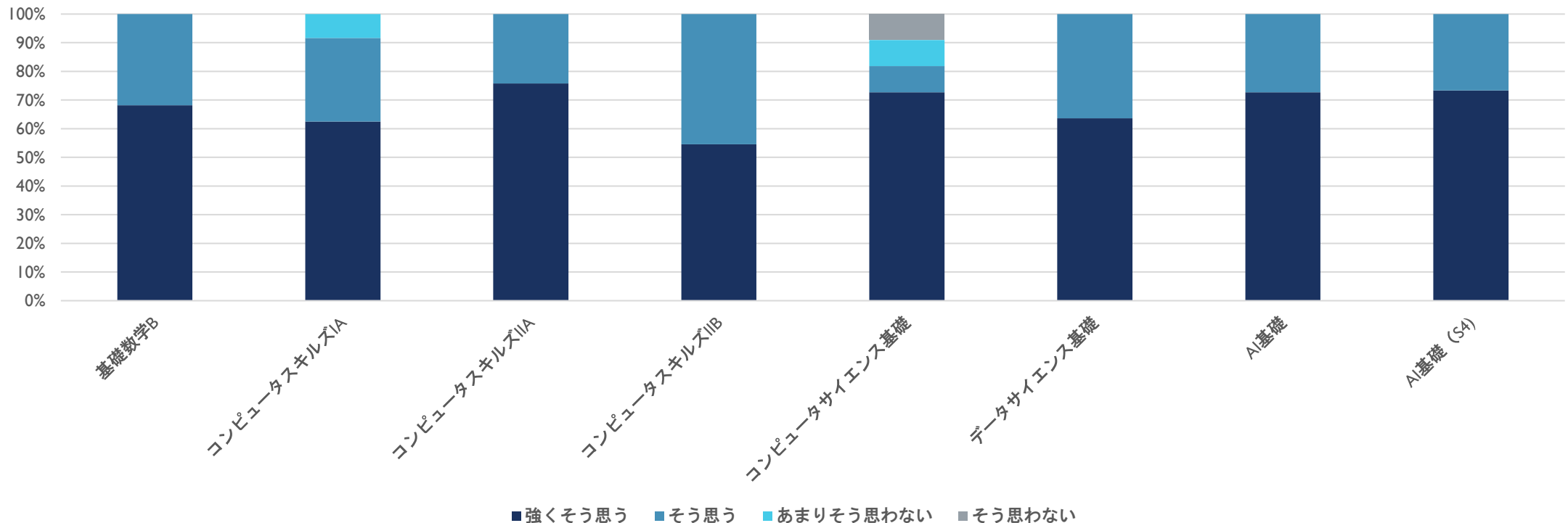
- 本校ではこれまで、本校卒業生と本校卒業生を採用した企業に対して5年程度に1度の頻度でアンケート調査を実施して、本校の教育成果と問題点を企業からの意見を基に確認している。
- 2025年度に本校卒業生と本校卒業生を採用した企業に対してアンケートが行われた。

自己点検結果

(8) 「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させる工夫

- 授業アンケートにおける「この科目に対して積極的に取り組んだ」という質問の結果は以下のとおりである。その結果全ての科目で「強くそう思う」「そう思う」の合計が80%以上となった。

この科目に対して積極的に取り組んだ

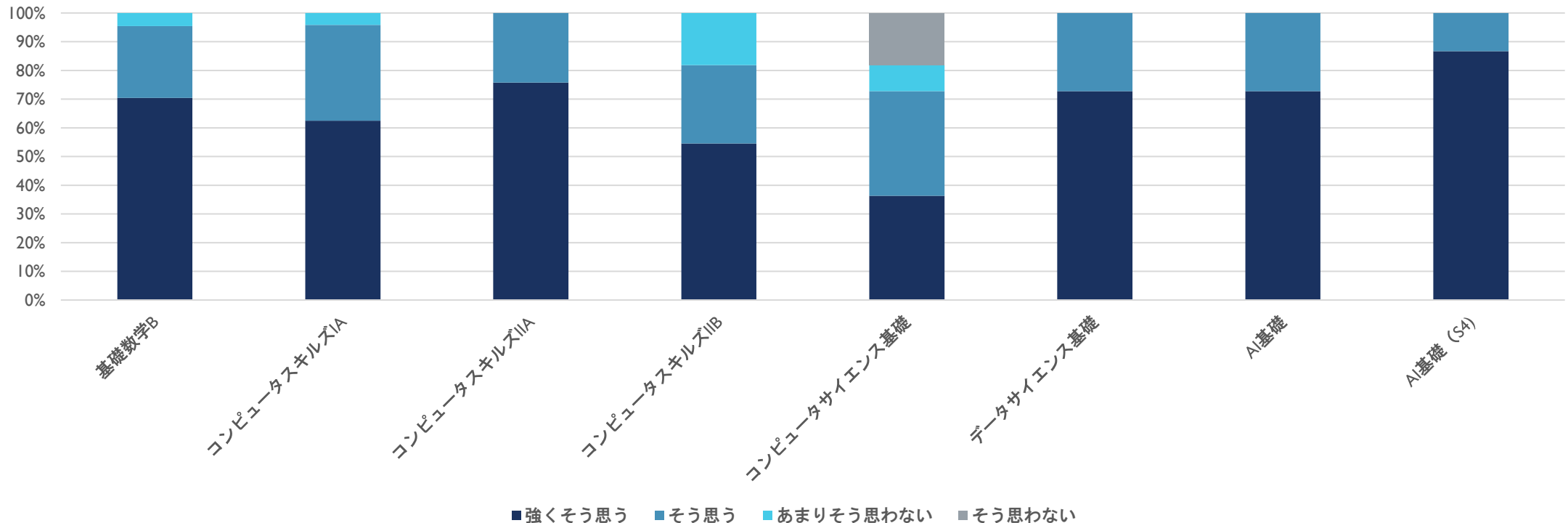


自己点検結果

(8) 「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させる工夫

- 授業アンケートにおける「この科目に対して満足している」という質問の結果は以下のとおりである。その結果コンピュータサイエンス基礎以外の科目で「強くそう思う」「そう思う」の合計が80%以上となったが、「そう思わない」という回答がコンピュータサイエンス基礎で見られた。

この科目に対して満足している

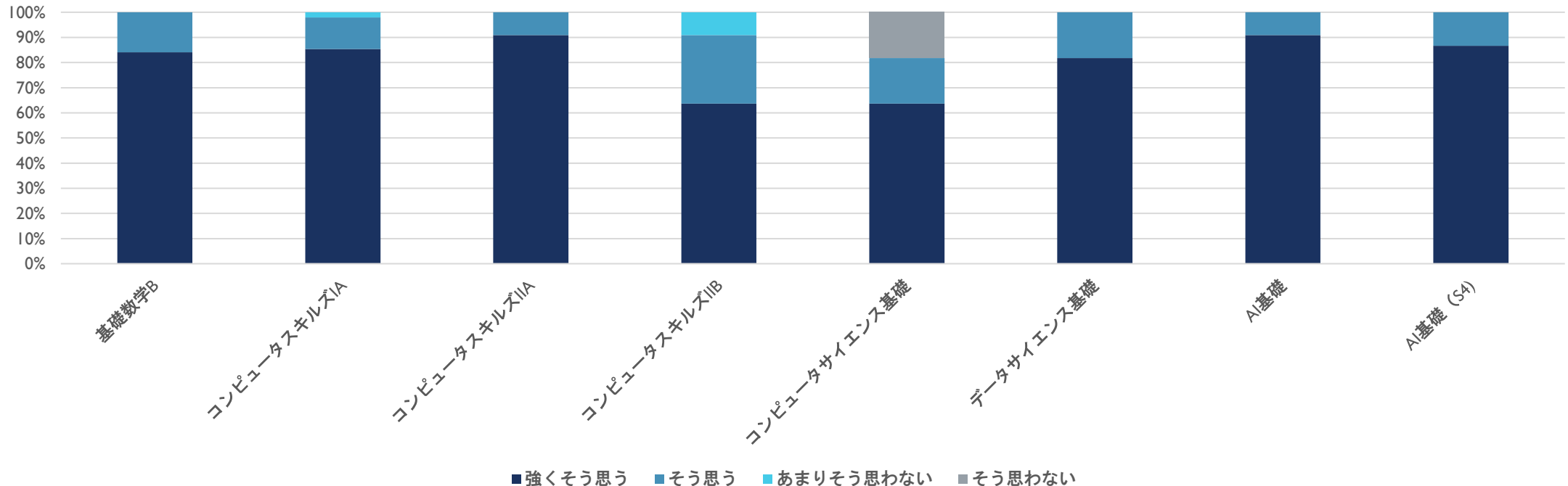


自己点検結果

(9)内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かり易い」授業とする工夫

- 授業アンケートにおける「教員が学生を尊重し、学生が質問や発言をしやすい雰囲気や環境を作っていた」という質問の結果は以下のとおりである。その結果全ての科目で「強くそう思う」「そう思う」の合計が80%以上となった。

教員は学生を尊重し、学生が質問や発言をしやすい
雰囲気や環境を作っていた

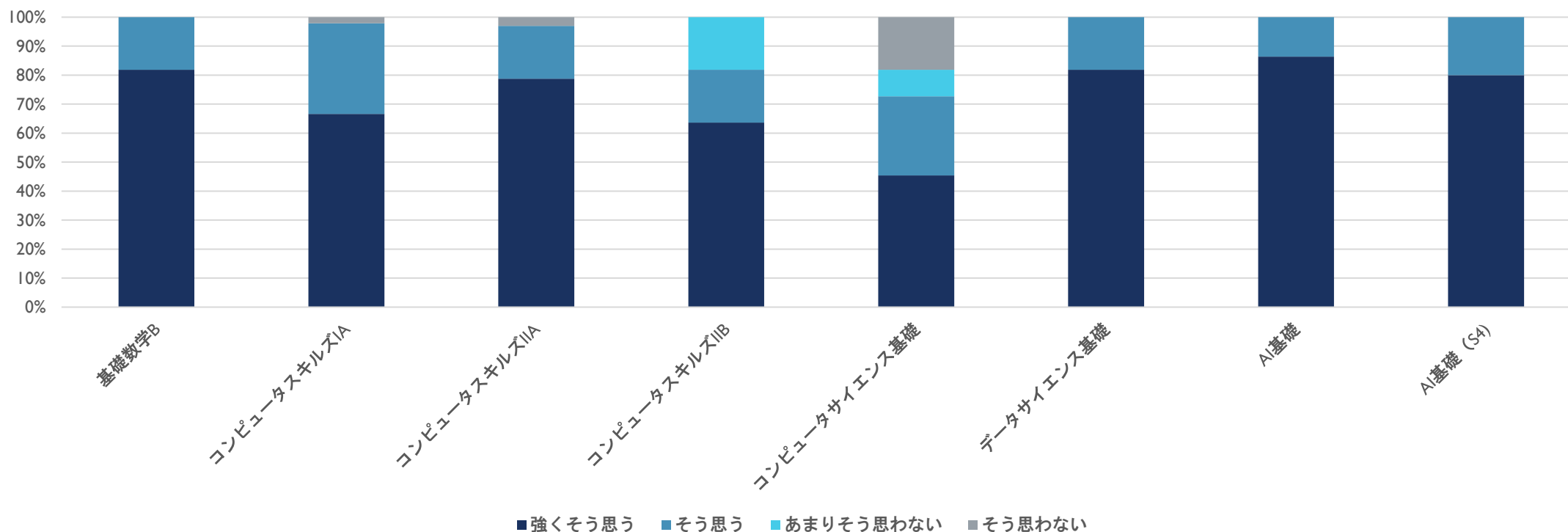


自己点検結果

(9)内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かり易い」授業とする工夫

- 授業アンケートにおける「教員の説明や教え方はわかりやすかった」という質問の結果は以下のとおりである。その結果全ての科目で「強くそう思う」「そう思う」の合計が70%以上となったが、「そう思わない」という回答もいくつかの科目で見られた。

教員の説明や教え方は分かりやすかった



自己点検・評価結果 まとめ

点検項目	評価結果	評価理由
(1)プログラムの履修・修得状況	A	履修率は100%で、合格率もAI基礎(S4)を除き100%になっている。AI基礎(S4)の合格率は94%であった。
(2)学修成果	A	授業アンケートによるフィードバックを教員が次年度の授業に向けて改善する流れができています。また、学生のプロジェクトでAIやデータ分析に関わるものが増えました。
(3)学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	A	概ね良い評価である。
(4)学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	-	該当科目は必修である。
(5)全学的な履修者数・履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	C	入学者数（履修者数）の向上には継続的な施策が必要である。
(6)教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	B	卒業生に向けたアンケートが行われた。
(7)産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	B	企業に向けたアンケートが行われた。
(8)「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させる工夫	B	概ね良い評価だが、一部の科目で改善の必要がある。
(9)内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かり易い」授業とする工夫	B	概ね良い評価だが、一部の科目で改善の必要がある。